

ロバート・N・マクバーニー博士 (Robert N. McBurney, Ph.D.)

BG Medicine 社
研究開発部門副社長・最高学術責任者

学界および産業界において医学研究分野での輝かしい経歴を誇るマクバーニー博士は、医学研究と医療問題の解決に与える医学研究の影響に関して、豪州、英国、米国で先導的な医学研究活動に携わった自らの経験に基づいた独自の世界観を持つ。

マクバーニー博士は、現在、BG Medicine 社の最高学術責任者として、医薬品産業にソリューションの提供と、分子診断法の開発に繋がるバイオマーカーの発見を目的とした同社の分子系解析技術応用を監督する立場にある。

マクバーニー博士は、ここ 20 年間、ボストンを拠点とする新興のバイオテクノロジー企業数社に在籍してきた。2003 年に BG Medicine 社に入社する以前には、Differential Proteomics 社を創設し、社長兼 CEO を務めていた。また、それ以前の 2000-2001 年には CeNeS Pharmaceuticals 社社長、1990-2000 年には Cambridge NeuroScience 社最高学術責任者、後に同社社長を務めている。

マクバーニー博士のバイオテクノロジー業界に転ずる 1987 年までの経歴は、大学での研究活動も含め、次の通りである。

英国医療研究委員会 (MRC) 神経内分泌科、副部長
英国ニューキャッスル大学アポンタイン校医学部生理学科、准教授
米国国立衛生研究所、客員研究員
英国ケンブリッジ大学王立協会、研究員
豪州ニューサウスウェルズ大学医学部、上級研究主任

マクバーニー博士は、豪州ニューサウスウェルズ大学で優秀な成績で理学士号を取得し、さらに同大学で博士号を取得した。医学研究分野での活動以外では、米国マサチューセッツ州の新設 F.W. Olin 工科大学の理事、米国マサチューセッツ工科大学が主催する学生起業家コンペティションの審査員も務めている。